

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第65号(2012.07.31)
事務局川西地区自主防災会

湊崎小学校の防災・減災への取り組みをお聞きしました！

お答えいただいたのは、土庄町立湊崎小学校長 木村恭之先生です。

1、湊崎小学校のことを教えてください？（概要など）

土庄町立湊崎小学校は、ギネスブックにも登録されている世界一狭い海峡「土湊海峡」の東側に位置しています。校区は平成17年度4月の学校編成により、湊崎地区・大鐸地区・大部地区の3地区が一つになり、252人の子どもたちが本校へ通っています。

児童数は、252人（1年42人、2年45人、3年37人、4年36人、5年52人、6年40人） 教職員は21人です。

2、どんなところに立っていますか？（近隣の環境など）

通学路は国道436号線が走り、県道を挟んで大型の商業施設が建ち並ぶ商業の中心に立地していて、近隣には香川県庁の出先機関である小豆合同庁舎、土庄中央病院、土庄町立中央図書館、簡易裁判所などの公共機関が多数有り、様々な商店も存在しています。

また、双子浦の富丘古墳群や宝生院のシンパクなど、歴史的に貴重なものも多く残っています。

3 防災教育に取り組むきっかけは？

やはり3.11東日本大震災で、ある小学校の74名の児童の尊い命が奪われたことで学校の防災管理を問い直さねばならないと感じました。

現状の防災の知識や避難訓練では子どもの命は救えないのではないかと疑問に思い、防災教育を強化していくのが校長の責務と感じました。



4、児童たちは、防災教育、訓練にどのような感想を持ったと思われますか？

子どもたちの感想と言うよりも学期に1回の避難訓練を月に1回に変更したり、防災に関する授業を公開したりしていく中で、子どもは身体で覚え、考え、判断できるようになってきました。

5、本年度は、どのように取り組んでいきますか？具体的に紹介ください。

毎年10月の第1土曜日に保護者、地域と共に防災について考え、訓練をしていく「湊崎小学校防災の日」を設定しました。本年度の実施内容は避難所経営について検討し、対策本部の動き、炊き出しについての学び方、パーテーションの効果のある設置などを折り込んだ避難所訓練を10月6日（土）に実施する予定です。

6、防災教育を実施するにあたり、課題や悩みはありますか？

ある企業の社長さんに「考えて行動するのか、行動してから考えるのか？」と問われたことがあります。彼は、「考えすぎるとアイデアが浮かばないし悩んでしまう。悩みからは何も解決策は生まれないよ。」と教えられました。今は、山積している課題をどう改善していくかを考えています。むしろ、悩まないようにしているかもしれません。今の課題は、成果の出る防災授業の在り方、スムーズな子どもの引き渡し、備蓄の確保、予算の確保など多岐にわたっています。



7、昨年度参加された「防災甲子園」の感想をお聞かせください。

又、今後もチャレンジしますか？

一番印象的であったのは被災地の小・中学生の思いや願いを聞いて胸が痛みました。小豆島の子供たちはなんと恵まれているのだろうと……。被災地の学校に比べ普通に運動会ができ、計画通り入学式、卒業式ができる。我々は小豆島の自然に、地域に、そして親に感謝をしようと子どもたちに語りかけています。



8、その他のご意見やご要望はございますか？

防災教育は学校だけとするものでなく、町と地域と保護者に支えられてできるものであると考えています。それにはまず、学校がアクションを起こさないと進まないかもしれません。このような思いから本校が行っている実践を提供することにより、土庄町内の小・中学校の防災教育が高まっていけばいいなと思っています。

そのために本年度の11月19日（月）に健康安全教育研究会を開催し、防災教育を中心にした内容を参加者の皆さんに公開する予定です。もし、お時間が許すならご参観頂き、一緒に防災教育について語り合えたらと思っています。

各項目にあたってご回答いただき誠にありがとうございました。

四国地方防災エキスパート松尾裕治様より情報をいただきました。

四国災害情報アーカイブスが本年7月20日より始まりました。

四国建設弘済会が、四国で過去に発生した地震・津波の情報をデータベース化した「四国災害アーカイブス」を20日からインターネット上で公開しました。文献で被害が確認できた38の地震・津波について発生日や被害状況をまとめ、市町村別などで検索できます。ぜひ一度ご覧になってください。

URL⇒ <http://www.shikoku-saigai.com>

事務局だより

平成24年 7月

かがわ自主ぼうの事務局を担当している「川西地区自主防災会」最近の活動を紹介します。

1、真夏の防災訓練

7月24日（火）、気温34℃の中香川県建築業協会中讃支部所属の建設業の皆さん約60名と共に防災訓練を実施しました。我が川西自主ぼうから14名、インストラクターの立場で参加しましたが、「暑い」「暑い」という言葉を発したら1回ごとに¥1,000-の罰金を取るぞ！ということで最後まで頑張りました。



2、初めての「夜間避難」訓練を実施

夜間の避難訓練のキッカケは、今年3月NHKの番組に出演させていただいた折に、高知大学岡村教授から「一度夜間帯の訓練を実施してはどうか？又、新たな問題点が見えてきますよ」と言われたことからこの度の訓練となりました。想定は、7月28日（土）午後10時に南海トラフによる大地震が発生。市内「ため池」決壊のおそれにより、丸亀市からの避難勧告（午後10時10分）が発令されたことから、川西地区住民が6カ所の避難所へ避難を開始しました。





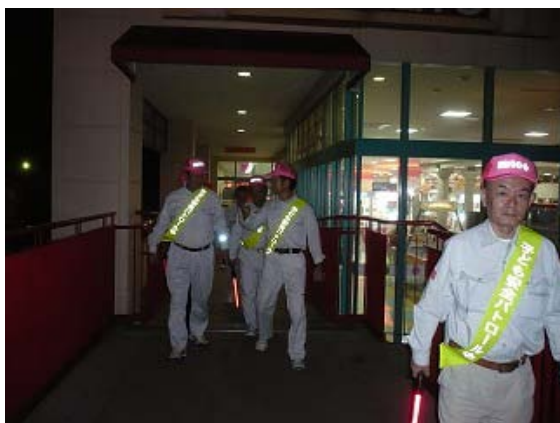
3、親子避難所宿泊体験

この度「地域のチカラ」創出事業の一環として親子10組による避難所体験訓練を7月28日(土) 18:00～翌日午前10:00まで実施しました。



4、今夏は毎夜防犯パトロールを展開

自主防災会では青少年の非行防止運動として夏休みの期間中「防犯パトロール」を実施しております。猛暑の中、皆さん頑張っています。



編集後記

今月の「防災減災の輪」の原稿は、土庄町立湊崎小学校長 木村恭之先生様にお願いしました。ありがとうございました。